

令和8年度新規地区採択チェックリスト

(10) 中山間地域農業農村総合整備事業

(都道府県名:静岡県)(地区名:伊豆河東)

1. 必須事項

項目	評価の内容	判定
1. 事業の必要性が明確であること。 (必要性)	・農業生産性の向上、農業総生産の維持・増大、農業生産の選択的拡大、農業構造の改善、営農環境の改善等の観点から、当該事業を必要とすること。	<input type="checkbox"/>
2. 技術的可能性が確実であること。	・地形、地質、水利状況等からみて、当該事業の施行が技術的に可能であること。	<input type="checkbox"/>
3. 事業の効率性が十分見込まれること。 (効率性)	・当該事業の効用の発現が十分に見込まれ、すべての効用がそのすべての費用を償うこと。	<input type="checkbox"/>
4. 受益者負担の可能性が十分であること。 (公平性)	・当該事業の費用に係る受益農家の負担が、農業経営の状況からみて、負担能力の限度を超えることとならないこと。	<input type="checkbox"/>
5. 環境との調和に配慮していること。	・当該事業が環境との調和に配慮したものであること。	<input type="checkbox"/>
6. 事業の採択要件を満たしていること。	・事業実施要綱・要領に規定された事業内容、採択基準の要件に適合していること。	<input type="checkbox"/>

項目を満たしている場合は「○」とする。

項目欄の( )には、主として考えられる観点を記述している。

令和8年度新規地区採択チェックリスト

(10) 中山間地域農業農村総合整備事業

(都道府県名:静岡県)(地区名:伊豆河東)

2. 優先配慮事項

【効率性・有効性】

評価項目			評価指標	単位	評価結果	評価
大項目	中項目	小項目				
効率性	事業の経済性・効率性		①事業費の経済性・効率性の確保 ②コスト縮減についての具体的配慮	—	○ ○	A
有効性	食料安全保障の確保	農業生産性の維持・向上	土地生産性及び労働生産性の維持・向上効果額（受益面積当たり）	千円/ha・年	6,662	A
			スマート農業技術等の導入	—	A	A
			地域の所得確保の取組	—	B	B
		産地収益力の向上	①高収益作物の生産額の増加率	%	1,021.9	A
			②高収益作物の作付面積の増加率	%	842.9	
	農業の持続的発展	望ましい農業構造の確立	担い手への農地利用集積率	%	83.8	A
			農地の確保・有効利用	①耕地利用率 ②作付率の増加ポイント	% %	100.0 89.7
	農村の振興	地域経済への波及効果	他産業への経済波及効果額（受益面積当たり）	千円/ha・年	9,365	A
			農業の高付加価値化	①農業の高付加価値化や6次産業化に向けた取組 ②地域活性化に係る話合い	—	○ ○
	多面的機能の発揮	地域の共同活動	多面的機能支払交付金等の取組	—	A	A
環境と調和のとれた食料システムの確立	みどりの食料システム戦略に係る取組	「みどりの食料システム戦略」に係る取組の検討状況	—	A	A	
		生態系・景観への配慮	①環境情報協議会等の意見を踏まえた生態系及び景観への配慮 ②地域住民の参加や地域住民との合意形成への取組 ③維持管理、費用負担、モニタリング体制等の調整状況	—	a a a	A

【事業の実施環境等】

評価項目			評価指標	単位	評価結果	評価
大項目	中項目	小項目				
事業の実施環境等	連携管理保全計画（水土里ビジョン）の策定		連携管理保全計画（水土里ビジョン）の策定状況	—	—	—
	関係計画との連携		①都道府県や市町村が策定する農業振興計画や農業振興地域整備計画等と本事業との整合性 ②地域計画と本事業との整合性 ③地域における開発計画と本事業との整合性 ④関係計画における対象事業等への位置付け	—	a a a a	A
	関係機関との協議		①河川管理者との協議（予備）の状況 ②その他着工前に重要な協議（予備）の状況	—	— a	A
	地元合意		①事業実施に対する受益農家の同意状況 ②事業実施に対する関係市町村の同意状況 ③事業推進協議会から着工要望の提出 ④維持管理方法と費用負担に関する予定管理者との合意 ⑤事業に伴う土地利用規制の周知状況	—	a a a a a	A
	営農推進体制・環境		①営農部局との連携 ②営農推進組織等（営農支援体制）の設立状況 ③農産物の流通・販売基盤の整備状況 ④需要に応じた生産の取組状況 ⑤フラッグシップ輸出産地又は輸出事業計画（GFPグローバル産地計画）の対象となる作物の営農計画への位置付け状況	—	a a a a —	A
	緊急性		①国営事業等関連する他の公共事業との関係で緊急性が高い ②老朽化等による施設機能低下や農業被害の発生状況、地域の農家の減少、荒廃農地の増加状況から、施設整備の緊急性が高い	—	○ —	B
	ストック効果の最大化		ストック効果の最大化に向けた事業の効率性・有効性等の確保	%	86.7	A

## 伊豆河東地区の事業の効用に関する説明資料

### 1 総費用総便益比の算定

#### (1) 総費用総便益比の総括

(単位：千円)

区 分	算 定 式	数 値
総費用（現在価値化）	①=②+③	1,651,407
当該事業による費用	②	1,475,064
関連事業による費用、資産価額、再整備費	③	176,343
評価期間（当該事業の工事期間+40年）	④	48年
社会的割引率		4%
総便益額（現在価値化）	⑤	1,835,206
総費用総便益比	⑥=⑤÷①	1.11

#### (2) 総費用の総括

(単位：千円)

区 分	施 設 名 (又は工種)	資産価額 (事業着工 時点) ①	当該事業に よる費用 ②	関連事業 による費 用 ③	再整備費 ④	資産価額 (評価期間 終了時点) ⑤	総費用 ⑥= ①+②+③ +④-⑤
当 該 事 業	ほ場整備	-	751,045	-	185,610	57,904	878,751
	農道	-	441,965	-	72,898	24,261	490,602
	高収益作物導入等施設	-	282,054	-	-	-	282,054
	計	-	1,475,064	-	258,508	82,165	1,651,407
	合 計	-	1,475,064	-	258,508	82,165	1,651,407

(3) 年総効果額の総括

(単位：千円)

効果項目	区分	年 総 効 果 ( 便 益 ) 額	効果の要因
<b>食料の安定供給の確保に関する効果</b>			
作物生産効果		28,642	区画整理及び高収益作物導入等施設整備を実施した場合と実施しなかった場合での作物生産量が増減する効果
営農経費節減効果		43,916	区画整理を実施した場合と実施しなかった場合での営農経費が増減する効果
維持管理費節減効果		△ 1,563	区画整理及び農道の整備を実施した場合と実施しなかった場合での施設の維持管理費が増減する効果
営農に係る走行経費節減効果		34,265	農道の整備を実施した場合と実施しなかった場合での農業交通に係る走行経費が増減する効果
<b>農村の振興に関する効果</b>			
地籍確定効果		90	区画整理を実施した場合と実施しなかった場合での国土調査に要する経費が節減する効果
<b>その他の効果</b>			
国産農産物安定供給効果		4,929	区画整理及び高収益作物導入等施設整備の実施により農業生産性の向上や営農条件等の改善が図られ、国産農産物の安定供給に寄与する効果
合 計		110,279	

(4) 総便益額算出表－1

評価期間	年度	割引率 (1+割引率) <sup>t</sup> ① 0.04	経過年 (t)	作物生産効果						備考
				更新分に 係る効果 年効果額 (千円) ②	新設及び機能向上分 に係る効果			計		
					年効果額 (千円) ③	効果発生 割合 (%) ④	年発生 効果額 (千円) ⑤=③×④	年効果額 (千円) ⑥=②+⑤	割引後 (千円) ⑦=⑥÷①	
1	R8	1.0400	1	-	28,642	0.0	0	0	0	
2	R9	1.0816	2	-	28,642	0.0	0	0	0	
3	R10	1.1249	3	-	28,642	0.0	0	0	0	
4	R11	1.1699	4	-	28,642	1.2	339	339	290	
5	R12	1.2167	5	-	28,642	2.5	702	702	577	
6	R13	1.2653	6	-	28,642	13.8	3,954	3,954	3,125	
7	R14	1.3159	7	-	28,642	53.6	15,363	15,363	11,675	
8	R15	1.3686	8	-	28,642	94.9	27,173	27,173	19,855	
9	R16	1.4233	9	-	28,642	98.3	28,153	28,153	19,780	
10	R17	1.4802	10	-	28,642	100.0	28,642	28,642	19,350	
11	R18	1.5395	11	-	28,642	100.0	28,642	28,642	18,605	
12	R19	1.6010	12	-	28,642	100.0	28,642	28,642	17,890	
13	R20	1.6651	13	-	28,642	100.0	28,642	28,642	17,201	
14	R21	1.7317	14	-	28,642	100.0	28,642	28,642	16,540	
15	R22	1.8009	15	-	28,642	100.0	28,642	28,642	15,904	
16	R23	1.8730	16	-	28,642	100.0	28,642	28,642	15,292	
17	R24	1.9479	17	-	28,642	100.0	28,642	28,642	14,704	
18	R25	2.0258	18	-	28,642	100.0	28,642	28,642	14,139	
19	R26	2.1068	19	-	28,642	100.0	28,642	28,642	13,595	
20	R27	2.1911	20	-	28,642	100.0	28,642	28,642	13,072	
21	R28	2.2788	21	-	28,642	100.0	28,642	28,642	12,569	
22	R29	2.3699	22	-	28,642	100.0	28,642	28,642	12,086	
23	R30	2.4647	23	-	28,642	100.0	28,642	28,642	11,621	
24	R31	2.5633	24	-	28,642	100.0	28,642	28,642	11,174	
25	R32	2.6658	25	-	28,642	100.0	28,642	28,642	10,744	
26	R33	2.7725	26	-	28,642	100.0	28,642	28,642	10,331	
27	R34	2.8834	27	-	28,642	100.0	28,642	28,642	9,933	
28	R35	2.9987	28	-	28,642	100.0	28,642	28,642	9,551	
29	R36	3.1187	29	-	28,642	100.0	28,642	28,642	9,184	
30	R37	3.2434	30	-	28,642	100.0	28,642	28,642	8,831	
31	R38	3.3731	31	-	28,642	100.0	28,642	28,642	8,491	
32	R39	3.5081	32	-	28,642	100.0	28,642	28,642	8,165	
33	R40	3.6484	33	-	28,642	100.0	28,642	28,642	7,851	
34	R41	3.7943	34	-	28,642	100.0	28,642	28,642	7,549	
35	R42	3.9461	35	-	28,642	100.0	28,642	28,642	7,258	
36	R43	4.1039	36	-	28,642	100.0	28,642	28,642	6,979	
37	R44	4.2681	37	-	28,642	100.0	28,642	28,642	6,711	
38	R45	4.4388	38	-	28,642	100.0	28,642	28,642	6,453	
39	R46	4.6164	39	-	28,642	100.0	28,642	28,642	6,204	
40	R47	4.8010	40	-	28,642	100.0	28,642	28,642	5,966	
41	R48	4.9931	41	-	28,642	100.0	28,642	28,642	5,736	
42	R49	5.1928	42	-	28,642	100.0	28,642	28,642	5,516	
43	R50	5.4005	43	-	28,642	100.0	28,642	28,642	5,304	
44	R51	5.6165	44	-	28,642	100.0	28,642	28,642	5,100	
45	R52	5.8412	45	-	28,642	100.0	28,642	28,642	4,903	
46	R53	6.0748	46	-	28,642	100.0	28,642	28,642	4,715	
47	R54	6.3178	47	-	28,642	100.0	28,642	28,642	4,534	
48	R55	6.5705	48	-	28,642	100.0	28,642	28,642	4,359	
合計 (総便益額)									449,411	

※経過年は評価年からの年数。

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

(4) 総便益額算出表－2

評価期間	年度	割引率 (1+割引率) <sup>†</sup> ①	経過年 (t)	営農経費節減効果						備考
				更新分に 係る効果 年効果額 (千円) ②	新設及び機能向上分 に係る効果			計		
					年効果額 (千円) ③	効果発生 割合 (%) ④	年発生 効果額 (千円) ⑤=③×④	年効果額 (千円) ⑥=②+⑤	割引後 (千円) ⑦=⑥÷①	
1	R8	1.0400	1	-	43,916	0.0	0	0	0	
2	R9	1.0816	2	-	43,916	0.0	0	0	0	
3	R10	1.1249	3	-	43,916	0.0	0	0	0	
4	R11	1.1699	4	-	43,916	1.0	461	461	394	
5	R12	1.2167	5	-	43,916	2.3	998	998	820	
6	R13	1.2653	6	-	43,916	19.5	8,565	8,565	6,769	
7	R14	1.3159	7	-	43,916	46.5	20,414	20,414	15,513	
8	R15	1.3686	8	-	43,916	79.4	34,867	34,867	25,476	
9	R16	1.4233	9	-	43,916	93.2	40,940	40,940	28,764	
10	R17	1.4802	10	-	43,916	100.0	43,916	43,916	29,669	
11	R18	1.5395	11	-	43,916	100.0	43,916	43,916	28,526	
12	R19	1.6010	12	-	43,916	100.0	43,916	43,916	27,430	
13	R20	1.6651	13	-	43,916	100.0	43,916	43,916	26,374	
14	R21	1.7317	14	-	43,916	100.0	43,916	43,916	25,360	
15	R22	1.8009	15	-	43,916	100.0	43,916	43,916	24,386	
16	R23	1.8730	16	-	43,916	100.0	43,916	43,916	23,447	
17	R24	1.9479	17	-	43,916	100.0	43,916	43,916	22,545	
18	R25	2.0258	18	-	43,916	100.0	43,916	43,916	21,678	
19	R26	2.1068	19	-	43,916	100.0	43,916	43,916	20,845	
20	R27	2.1911	20	-	43,916	100.0	43,916	43,916	20,043	
21	R28	2.2788	21	-	43,916	100.0	43,916	43,916	19,272	
22	R29	2.3699	22	-	43,916	100.0	43,916	43,916	18,531	
23	R30	2.4647	23	-	43,916	100.0	43,916	43,916	17,818	
24	R31	2.5633	24	-	43,916	100.0	43,916	43,916	17,133	
25	R32	2.6658	25	-	43,916	100.0	43,916	43,916	16,474	
26	R33	2.7725	26	-	43,916	100.0	43,916	43,916	15,840	
27	R34	2.8834	27	-	43,916	100.0	43,916	43,916	15,231	
28	R35	2.9987	28	-	43,916	100.0	43,916	43,916	14,645	
29	R36	3.1187	29	-	43,916	100.0	43,916	43,916	14,082	
30	R37	3.2434	30	-	43,916	100.0	43,916	43,916	13,540	
31	R38	3.3731	31	-	43,916	100.0	43,916	43,916	13,019	
32	R39	3.5081	32	-	43,916	100.0	43,916	43,916	12,518	
33	R40	3.6484	33	-	43,916	100.0	43,916	43,916	12,037	
34	R41	3.7943	34	-	43,916	100.0	43,916	43,916	11,574	
35	R42	3.9461	35	-	43,916	100.0	43,916	43,916	11,129	
36	R43	4.1039	36	-	43,916	100.0	43,916	43,916	10,701	
37	R44	4.2681	37	-	43,916	100.0	43,916	43,916	10,289	
38	R45	4.4388	38	-	43,916	100.0	43,916	43,916	9,894	
39	R46	4.6164	39	-	43,916	100.0	43,916	43,916	9,513	
40	R47	4.8010	40	-	43,916	100.0	43,916	43,916	9,147	
41	R48	4.9931	41	-	43,916	100.0	43,916	43,916	8,795	
42	R49	5.1928	42	-	43,916	100.0	43,916	43,916	8,457	
43	R50	5.4005	43	-	43,916	100.0	43,916	43,916	8,132	
44	R51	5.6165	44	-	43,916	100.0	43,916	43,916	7,819	
45	R52	5.8412	45	-	43,916	100.0	43,916	43,916	7,518	
46	R53	6.0748	46	-	43,916	100.0	43,916	43,916	7,229	
47	R54	6.3178	47	-	43,916	100.0	43,916	43,916	6,951	
48	R55	6.5705	48	-	43,916	100.0	43,916	43,916	6,684	
合計 (総便益額)									682,014	

※経過年は評価年からの年数。

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

(4) 総便益額算出表－3

評価 期間	年度	割引率 (1+割引率) <sup>t</sup> ① 0.04	経過 年 (t)	維持管理費節減効果						備考
				更新分に 係る効果 年効果額 (千円) ②	新設及び機能向上分 に係る効果			計		
					年効果額 (千円) ③	効果発生 割合 (%) ④	年 発 生 効 果 額 (千円) ⑤=③×④	年効果額 (千円) ⑥=②+⑤	同 左 割 引 後 (千円) ⑦=⑥÷①	
1	R8	1.0400	1	△ 12	△ 1,551	0.0	0	△ 12	△ 12	
2	R9	1.0816	2	△ 12	△ 1,551	0.0	0	△ 12	△ 11	
3	R10	1.1249	3	△ 12	△ 1,551	14.3	△ 222	△ 234	△ 208	
4	R11	1.1699	4	△ 12	△ 1,551	28.6	△ 444	△ 456	△ 390	
5	R12	1.2167	5	△ 12	△ 1,551	68.4	△ 1,060	△ 1,072	△ 881	
6	R13	1.2653	6	△ 12	△ 1,551	80.7	△ 1,252	△ 1,264	△ 999	
7	R14	1.3159	7	△ 12	△ 1,551	94.0	△ 1,458	△ 1,470	△ 1,117	
8	R15	1.3686	8	△ 12	△ 1,551	94.0	△ 1,458	△ 1,470	△ 1,074	
9	R16	1.4233	9	△ 12	△ 1,551	100.0	△ 1,551	△ 1,563	△ 1,098	
10	R17	1.4802	10	△ 12	△ 1,551	100.0	△ 1,551	△ 1,563	△ 1,056	
11	R18	1.5395	11	△ 12	△ 1,551	100.0	△ 1,551	△ 1,563	△ 1,015	
12	R19	1.6010	12	△ 12	△ 1,551	100.0	△ 1,551	△ 1,563	△ 976	
13	R20	1.6651	13	△ 12	△ 1,551	100.0	△ 1,551	△ 1,563	△ 939	
14	R21	1.7317	14	△ 12	△ 1,551	100.0	△ 1,551	△ 1,563	△ 903	
15	R22	1.8009	15	△ 12	△ 1,551	100.0	△ 1,551	△ 1,563	△ 868	
16	R23	1.8730	16	△ 12	△ 1,551	100.0	△ 1,551	△ 1,563	△ 834	
17	R24	1.9479	17	△ 12	△ 1,551	100.0	△ 1,551	△ 1,563	△ 802	
18	R25	2.0258	18	△ 12	△ 1,551	100.0	△ 1,551	△ 1,563	△ 772	
19	R26	2.1068	19	△ 12	△ 1,551	100.0	△ 1,551	△ 1,563	△ 742	
20	R27	2.1911	20	△ 12	△ 1,551	100.0	△ 1,551	△ 1,563	△ 713	
21	R28	2.2788	21	△ 12	△ 1,551	100.0	△ 1,551	△ 1,563	△ 686	
22	R29	2.3699	22	△ 12	△ 1,551	100.0	△ 1,551	△ 1,563	△ 660	
23	R30	2.4647	23	△ 12	△ 1,551	100.0	△ 1,551	△ 1,563	△ 634	
24	R31	2.5633	24	△ 12	△ 1,551	100.0	△ 1,551	△ 1,563	△ 610	
25	R32	2.6658	25	△ 12	△ 1,551	100.0	△ 1,551	△ 1,563	△ 586	
26	R33	2.7725	26	△ 12	△ 1,551	100.0	△ 1,551	△ 1,563	△ 564	
27	R34	2.8834	27	△ 12	△ 1,551	100.0	△ 1,551	△ 1,563	△ 542	
28	R35	2.9987	28	△ 12	△ 1,551	100.0	△ 1,551	△ 1,563	△ 521	
29	R36	3.1187	29	△ 12	△ 1,551	100.0	△ 1,551	△ 1,563	△ 501	
30	R37	3.2434	30	△ 12	△ 1,551	100.0	△ 1,551	△ 1,563	△ 482	
31	R38	3.3731	31	△ 12	△ 1,551	100.0	△ 1,551	△ 1,563	△ 463	
32	R39	3.5081	32	△ 12	△ 1,551	100.0	△ 1,551	△ 1,563	△ 446	
33	R40	3.6484	33	△ 12	△ 1,551	100.0	△ 1,551	△ 1,563	△ 428	
34	R41	3.7943	34	△ 12	△ 1,551	100.0	△ 1,551	△ 1,563	△ 412	
35	R42	3.9461	35	△ 12	△ 1,551	100.0	△ 1,551	△ 1,563	△ 396	
36	R43	4.1039	36	△ 12	△ 1,551	100.0	△ 1,551	△ 1,563	△ 381	
37	R44	4.2681	37	△ 12	△ 1,551	100.0	△ 1,551	△ 1,563	△ 366	
38	R45	4.4388	38	△ 12	△ 1,551	100.0	△ 1,551	△ 1,563	△ 352	
39	R46	4.6164	39	△ 12	△ 1,551	100.0	△ 1,551	△ 1,563	△ 339	
40	R47	4.8010	40	△ 12	△ 1,551	100.0	△ 1,551	△ 1,563	△ 326	
41	R48	4.9931	41	△ 12	△ 1,551	100.0	△ 1,551	△ 1,563	△ 313	
42	R49	5.1928	42	△ 12	△ 1,551	100.0	△ 1,551	△ 1,563	△ 301	
43	R50	5.4005	43	△ 12	△ 1,551	100.0	△ 1,551	△ 1,563	△ 289	
44	R51	5.6165	44	△ 12	△ 1,551	100.0	△ 1,551	△ 1,563	△ 278	
45	R52	5.8412	45	△ 12	△ 1,551	100.0	△ 1,551	△ 1,563	△ 268	
46	R53	6.0748	46	△ 12	△ 1,551	100.0	△ 1,551	△ 1,563	△ 257	
47	R54	6.3178	47	△ 12	△ 1,551	100.0	△ 1,551	△ 1,563	△ 247	
48	R55	6.5705	48	△ 12	△ 1,551	100.0	△ 1,551	△ 1,563	△ 238	
合計 (総便益額)									△ 27,297	

※経過年は評価年からの年数。

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

(4) 総便益額算出表－4

評価期間	年度	割引率 (1+割引率) <sup>t</sup> ① 0.04	経過年 (t)	営農に係る走行経費節減効果						備考
				更新分に 係る効果 年効果額 (千円) ②	新設及び機能向上分 に係る効果			計		
					年効果額 (千円) ③	効果発生 割合 (%) ④	年発生 効果額 (千円) ⑤=③×④	年効果額 (千円) ⑥=②+⑤	割引後 (千円) ⑦=⑥÷①	
1	R8	1.0400	1	21,554	12,711	0.0	0	21,554	20,725	
2	R9	1.0816	2	21,554	12,711	0.0	0	21,554	19,928	
3	R10	1.1249	3	21,554	12,711	0.0	0	21,554	19,161	
4	R11	1.1699	4	21,554	12,711	0.0	0	21,554	18,424	
5	R12	1.2167	5	21,554	12,711	0.0	0	21,554	17,715	
6	R13	1.2653	6	21,554	12,711	10.6	1,351	22,905	18,102	
7	R14	1.3159	7	21,554	12,711	39.0	4,955	26,509	20,145	
8	R15	1.3686	8	21,554	12,711	74.4	9,460	31,014	22,661	
9	R16	1.4233	9	21,554	12,711	92.1	11,710	33,264	23,371	
10	R17	1.4802	10	21,554	12,711	100.0	12,711	34,265	23,149	
11	R18	1.5395	11	21,554	12,711	100.0	12,711	34,265	22,257	
12	R19	1.6010	12	21,554	12,711	100.0	12,711	34,265	21,402	
13	R20	1.6651	13	21,554	12,711	100.0	12,711	34,265	20,578	
14	R21	1.7317	14	21,554	12,711	100.0	12,711	34,265	19,787	
15	R22	1.8009	15	21,554	12,711	100.0	12,711	34,265	19,027	
16	R23	1.8730	16	21,554	12,711	100.0	12,711	34,265	18,294	
17	R24	1.9479	17	21,554	12,711	100.0	12,711	34,265	17,591	
18	R25	2.0258	18	21,554	12,711	100.0	12,711	34,265	16,914	
19	R26	2.1068	19	21,554	12,711	100.0	12,711	34,265	16,264	
20	R27	2.1911	20	21,554	12,711	100.0	12,711	34,265	15,638	
21	R28	2.2788	21	21,554	12,711	100.0	12,711	34,265	15,036	
22	R29	2.3699	22	21,554	12,711	100.0	12,711	34,265	14,458	
23	R30	2.4647	23	21,554	12,711	100.0	12,711	34,265	13,902	
24	R31	2.5633	24	21,554	12,711	100.0	12,711	34,265	13,368	
25	R32	2.6658	25	21,554	12,711	100.0	12,711	34,265	12,854	
26	R33	2.7725	26	21,554	12,711	100.0	12,711	34,265	12,359	
27	R34	2.8834	27	21,554	12,711	100.0	12,711	34,265	11,884	
28	R35	2.9987	28	21,554	12,711	100.0	12,711	34,265	11,427	
29	R36	3.1187	29	21,554	12,711	100.0	12,711	34,265	10,987	
30	R37	3.2434	30	21,554	12,711	100.0	12,711	34,265	10,565	
31	R38	3.3731	31	21,554	12,711	100.0	12,711	34,265	10,158	
32	R39	3.5081	32	21,554	12,711	100.0	12,711	34,265	9,767	
33	R40	3.6484	33	21,554	12,711	100.0	12,711	34,265	9,392	
34	R41	3.7943	34	21,554	12,711	100.0	12,711	34,265	9,031	
35	R42	3.9461	35	21,554	12,711	100.0	12,711	34,265	8,683	
36	R43	4.1039	36	21,554	12,711	100.0	12,711	34,265	8,349	
37	R44	4.2681	37	21,554	12,711	100.0	12,711	34,265	8,028	
38	R45	4.4388	38	21,554	12,711	100.0	12,711	34,265	7,719	
39	R46	4.6164	39	21,554	12,711	100.0	12,711	34,265	7,422	
40	R47	4.8010	40	21,554	12,711	100.0	12,711	34,265	7,137	
41	R48	4.9931	41	21,554	12,711	100.0	12,711	34,265	6,862	
42	R49	5.1928	42	21,554	12,711	100.0	12,711	34,265	6,599	
43	R50	5.4005	43	21,554	12,711	100.0	12,711	34,265	6,345	
44	R51	5.6165	44	21,554	12,711	100.0	12,711	34,265	6,101	
45	R52	5.8412	45	21,554	12,711	100.0	12,711	34,265	5,866	
46	R53	6.0748	46	21,554	12,711	100.0	12,711	34,265	5,641	
47	R54	6.3178	47	21,554	12,711	100.0	12,711	34,265	5,424	
48	R55	6.5705	48	21,554	12,711	100.0	12,711	34,265	5,215	
合計 (総便益額)									651,712	

※経過年は評価年からの年数。

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

(4) 総便益額算出表－5

評価 期間	年度	割引率 (1+割引率) <sup>t</sup> ① 0.04	経過 年 (t)	地籍確定効果						備考	
				更新分に 係る効果 年効果額 (千円) ②	新設及び機能向上分 に係る効果			計			
					年効果額 (千円) ③	効果発生 割合 (%) ④	年 発 生 効 果 額 (千円) ⑤=③×④	年効果額 (千円) ⑥=②+⑤	同 左 割 引 後 (千円) ⑦=⑥÷①		
1	R8	1.0400	1	-	90	0.0	0	0	0		
2	R9	1.0816	2	-	90	0.0	0	0	0		
3	R10	1.1249	3	-	90	0.0	0	0	0		
4	R11	1.1699	4	-	90	0.0	0	0	0		
5	R12	1.2167	5	-	90	0.0	0	0	0		
6	R13	1.2653	6	-	90	37.8	34	34	27		
7	R14	1.3159	7	-	90	37.8	34	34	26		
8	R15	1.3686	8	-	90	100.0	90	90	66		
9	R16	1.4233	9	-	90	100.0	90	90	63		
10	R17	1.4802	10	-	90	100.0	90	90	61		
11	R18	1.5395	11	-	90	100.0	90	90	58		
12	R19	1.6010	12	-	90	100.0	90	90	56		
13	R20	1.6651	13	-	90	100.0	90	90	54		
14	R21	1.7317	14	-	90	100.0	90	90	52		
15	R22	1.8009	15	-	90	100.0	90	90	50		
16	R23	1.8730	16	-	90	100.0	90	90	48		
17	R24	1.9479	17	-	90	100.0	90	90	46		
18	R25	2.0258	18	-	90	100.0	90	90	44		
19	R26	2.1068	19	-	90	100.0	90	90	43		
20	R27	2.1911	20	-	90	100.0	90	90	41		
21	R28	2.2788	21	-	90	100.0	90	90	39		
22	R29	2.3699	22	-	90	100.0	90	90	38		
23	R30	2.4647	23	-	90	100.0	90	90	37		
24	R31	2.5633	24	-	90	100.0	90	90	35		
25	R32	2.6658	25	-	90	100.0	90	90	34		
26	R33	2.7725	26	-	90	100.0	90	90	32		
27	R34	2.8834	27	-	90	100.0	90	90	31		
28	R35	2.9987	28	-	90	100.0	90	90	30		
29	R36	3.1187	29	-	90	100.0	90	90	29		
30	R37	3.2434	30	-	90	100.0	90	90	28		
31	R38	3.3731	31	-	90	100.0	90	90	27		
32	R39	3.5081	32	-	90	100.0	90	90	26		
33	R40	3.6484	33	-	90	100.0	90	90	25		
34	R41	3.7943	34	-	90	100.0	90	90	24		
35	R42	3.9461	35	-	90	100.0	90	90	23		
36	R43	4.1039	36	-	90	100.0	90	90	22		
37	R44	4.2681	37	-	90	100.0	90	90	21		
38	R45	4.4388	38	-	90	100.0	90	90	20		
39	R46	4.6164	39	-	90	100.0	90	90	19		
40	R47	4.8010	40	-	90	100.0	90	90	19		
41	R48	4.9931	41	-	90	100.0	90	90	18		
42	R49	5.1928	42	-	90	100.0	90	90	17		
43	R50	5.4005	43	-	90	100.0	90	90	17		
44	R51	5.6165	44	-	90	100.0	90	90	16		
45	R52	5.8412	45	-	90	100.0	90	90	15		
46	R53	6.0748	46	-	90	100.0	90	90	15		
47	R54	6.3178	47	-	90	100.0	90	90	14		
48	R55	6.5705	48	-	90	100.0	90	90	14		
合計 (総便益額)										1,420	

※経過年は評価年からの年数。

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

(4) 総便益額算出表－6

評価 期間	年度	割引率 (1+割引率) <sup>t</sup> ① 0.04	経過 年 (t)	国産農産物安定供給効果						備考
				更新分に 係る効果 年効果額 (千円) ②	新設及び機能向上分 に係る効果			計		
					年効果額 (千円) ③	効果発生 割合 (%) ④	年 発 生 効 果 額 (千円) ⑤=③×④	年効果額 (千円) ⑥=②+⑤	同 左 割 引 後 (千円) ⑦=⑥÷①	
1	R8	1.0400	1	-	4,929	0.0	0	0	0	
2	R9	1.0816	2	-	4,929	0.0	0	0	0	
3	R10	1.1249	3	-	4,929	0.0	0	0	0	
4	R11	1.1699	4	-	4,929	2.5	122	122	105	
5	R12	1.2167	5	-	4,929	5.2	255	255	209	
6	R13	1.2653	6	-	4,929	28.1	1,384	1,384	1,094	
7	R14	1.3159	7	-	4,929	57.4	2,829	2,829	2,150	
8	R15	1.3686	8	-	4,929	89.5	4,412	4,412	3,223	
9	R16	1.4233	9	-	4,929	96.5	4,757	4,757	3,342	
10	R17	1.4802	10	-	4,929	100.0	4,929	4,929	3,330	
11	R18	1.5395	11	-	4,929	100.0	4,929	4,929	3,202	
12	R19	1.6010	12	-	4,929	100.0	4,929	4,929	3,079	
13	R20	1.6651	13	-	4,929	100.0	4,929	4,929	2,960	
14	R21	1.7317	14	-	4,929	100.0	4,929	4,929	2,846	
15	R22	1.8009	15	-	4,929	100.0	4,929	4,929	2,737	
16	R23	1.8730	16	-	4,929	100.0	4,929	4,929	2,632	
17	R24	1.9479	17	-	4,929	100.0	4,929	4,929	2,530	
18	R25	2.0258	18	-	4,929	100.0	4,929	4,929	2,433	
19	R26	2.1068	19	-	4,929	100.0	4,929	4,929	2,340	
20	R27	2.1911	20	-	4,929	100.0	4,929	4,929	2,250	
21	R28	2.2788	21	-	4,929	100.0	4,929	4,929	2,163	
22	R29	2.3699	22	-	4,929	100.0	4,929	4,929	2,080	
23	R30	2.4647	23	-	4,929	100.0	4,929	4,929	2,000	
24	R31	2.5633	24	-	4,929	100.0	4,929	4,929	1,923	
25	R32	2.6658	25	-	4,929	100.0	4,929	4,929	1,849	
26	R33	2.7725	26	-	4,929	100.0	4,929	4,929	1,778	
27	R34	2.8834	27	-	4,929	100.0	4,929	4,929	1,709	
28	R35	2.9987	28	-	4,929	100.0	4,929	4,929	1,644	
29	R36	3.1187	29	-	4,929	100.0	4,929	4,929	1,580	
30	R37	3.2434	30	-	4,929	100.0	4,929	4,929	1,520	
31	R38	3.3731	31	-	4,929	100.0	4,929	4,929	1,461	
32	R39	3.5081	32	-	4,929	100.0	4,929	4,929	1,405	
33	R40	3.6484	33	-	4,929	100.0	4,929	4,929	1,351	
34	R41	3.7943	34	-	4,929	100.0	4,929	4,929	1,299	
35	R42	3.9461	35	-	4,929	100.0	4,929	4,929	1,249	
36	R43	4.1039	36	-	4,929	100.0	4,929	4,929	1,201	
37	R44	4.2681	37	-	4,929	100.0	4,929	4,929	1,155	
38	R45	4.4388	38	-	4,929	100.0	4,929	4,929	1,110	
39	R46	4.6164	39	-	4,929	100.0	4,929	4,929	1,068	
40	R47	4.8010	40	-	4,929	100.0	4,929	4,929	1,027	
41	R48	4.9931	41	-	4,929	100.0	4,929	4,929	987	
42	R49	5.1928	42	-	4,929	100.0	4,929	4,929	949	
43	R50	5.4005	43	-	4,929	100.0	4,929	4,929	913	
44	R51	5.6165	44	-	4,929	100.0	4,929	4,929	878	
45	R52	5.8412	45	-	4,929	100.0	4,929	4,929	844	
46	R53	6.0748	46	-	4,929	100.0	4,929	4,929	811	
47	R54	6.3178	47	-	4,929	100.0	4,929	4,929	780	
48	R55	6.5705	48	-	4,929	100.0	4,929	4,929	750	
合計 (総便益額)									77,946	

※経過年は評価年からの年数。

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

## 2 年効果額の算定方法

### (1) 作物生産効果

#### ○効果の考え方

事業を実施した場合（事業ありせば）と実施しなかった場合（事業なかりせば）の作物生産量の比較により年効果額を算定した。

#### ○対象作物

温州みかん、いちご、キャベツ、甘夏、ニューサマーオレンジ、レモン、ハウスみかん、カーネーション

#### ○年効果額算定式

年効果額＝単収増加年効果額<sup>※1</sup>＋作付増減年効果額<sup>※2</sup>

※1 単収増加年効果額＝作付面積×（事業ありせば単収－事業なかりせば単収）×単価×単収増加の純益率

※2 作付増減年効果額＝（事業ありせば作付面積－事業なかりせば作付面積）×単収×単価×作付増減の純益率

#### ○年効果額の算定

作物名	新設・更新	作付面積			効果要因	単 収			生産増減量 ③＝ ①×②÷100	生産物単価 ④	増加粗収益額 ⑤＝③×④	純益率 ⑥	年効果額 ⑦＝⑤×⑥
		現況	計画	効果発生面積 ①		事業なかりせば単収	事業ありせば単収	効果対象単収 ②					
		ha	ha	ha		kg/10a	kg/10a	kg/10a	t	千円/t	千円	%	千円
温州みかん	新設	0.1	-	△ 0.1	作付減	3,478	-	3,478	△ 3.5	-	-	-	-
					小計	-	-	-	△ 3.5	322	△ 1,127	16	△ 180
					温州みかん計	-	-	-	△ 3.5	-	△ 1,127	-	△ 180
いちご	新設	0.1	-	△ 0.1	作付減	3,409	-	3,409	△ 3.4	-	-	-	-
					小計	-	-	-	△ 3.4	1,714	△ 5,828	17	△ 991
					いちご計	-	-	-	△ 3.4	-	△ 5,828	-	△ 991
キャベツ	新設	0.1	-	△ 0.1	作付減	3,950	-	3,950	△ 4.0	-	-	-	-
					小計	-	-	-	△ 4.0	69	△ 276	16	△ 44
					キャベツ計	-	-	-	△ 4.0	-	△ 276	-	△ 44
休耕地	新設	6.2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
水田計	新設	6.5	-	-	-	-	-	-	-	△ 7,231	-	△ 1,215	
	更新	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
温州みかん	新設	0.1	1.1	0.1	単収増 (温州みかんがよい)	3,478	4,000	522	0.5	-	-	-	-
					小計	-	-	-	0.5	322	161	91	147
					1.0	作付増	-	4,000	4,000	40.0	-	-	-
		0.3	0.2		小計	-	-	-	40.0	322	12,880	16	2,061
				0.2	単収増 (温州みかんがよい)	3,478	4,000	522	1.0	-	-	-	-
					小計	-	-	-	1.0	322	322	91	293
				△ 0.1	作付減	-	-	3,478	△ 3.5	-	-	-	-
	小計	-	-	-	△ 3.5	322	△ 1,127	16	△ 180				
	温州みかん計	-	-	-	-	-	37.5	-	12,236	-	2,321		
甘夏	新設	-	1.3	1.3	作付増	-	5,000	5,000	65.0	-	-	-	-
					小計	-	-	-	65.0	187	12,155	16	1,944
					甘夏計	-	-	-	65.0	-	12,155	-	1,944
ニューサマーオレンジ	新設	-	2.1	2.1	作付増	-	3,000	3,000	63.0	-	-	-	-
					小計	-	-	-	63.0	391	24,633	16	3,941
					ニューサマーオレンジ計	-	-	-	63.0	-	24,633	-	3,941
レモン	新設	-	1.0	1.0	作付増	-	3,500	3,500	35.0	-	-	-	-
					小計	-	-	-	35.0	509	17,815	16	2,850
					レモン計	-	-	-	35.0	-	17,815	-	2,850
ハウスみかん	新設	-	0.4	0.4	作付増	-	5,274	5,274	21.1	-	-	-	-
					小計	-	-	-	21.1	983	20,741	16	3,319
					ハウスみかん計	-	-	-	21.1	-	20,741	-	3,319

いちご	新設	-	0.1	0.1	作付増	-	3,920	3,920	3.9	-	-	-	-
					小計	-	-	-	3.9	1,714	6,685	17	1,136
					いちご計	-	-	-	3.9	-	6,685	-	1,136
カーネーション	新設	-	0.4	0.4	作付増	千本/10a	千本/10a	千本/10a	千本	千円/千本			
					小計	-	143	143	572.0	-	-	-	-
					カーネーション計	-	-	-	572.0	57	32,604	44	14,346
普通畑計	新設	0.4	6.6								126,869		29,857
	更新	-	-								-		-
	新設										119,638		28,642
	更新										-		-
	合計										119,638		28,642

- ・作付面積 :各作物の作付面積は以下のとおり  
「現況作付面積」・関係町の作付実績に基づき決定した。  
「計画作付面積」・新設整備では、県、関係町の農業振興計画や関係者の意向を踏まえ決定した。
- ・単 収 : 増加粗収益額の算定に用いる各作物の単収については、以下のとおり  
「事業なかりせば単収」・新設整備では、現況単収であり、農林水産統計等による最近5か年の平均単収により算定した。  
「事業ありせば単収」・新設整備では、計画単収であり、現況単収に効果要因別の増収率を考慮して算定した。  
「効果算定対象単収」・事業ありせば単収と事業なかりせば単収の差である。  
(作付増においては、地域の計画単収、作付減においては地域の現況単収である。)
- ・生産物単価 : 農業物価統計等による最近5か年の販売価格に消費者物価指数を反映した価格を用いた。
- ・純 益 率 : 「土地改良事業の費用対効果分析必要な諸係数について」による標準値等を用いた。

## (2) 営農経費節減効果

### ○効果の考え方

事業を実施した場合（事業ありせば）と事業を実施しなかった場合（事業なかりせば）の労働費、機械経費、その他の生産資材費について比較し、それらの営農経費の増減から年効果額を算定した。

### ○対象作物

温州みかん、甘夏、ニューサマーオレンジ、レモン

### ○効果算定式

年効果額 = (事業なかりせば単位面積当たり営農経費 - 事業ありせば単位面積当たり営農経費) × 効果発生面積

### ○年効果額の算定

作物名	ha当たり営農経費				ha当たり 経費節減額 ⑤ = (①-②) + (③-④)	効果発生 面積 ⑥	年効果額 ⑦ = ⑤ × ⑥
	新 設		更 新				
	現況 (事業なかりせば) ①	計画 (事業ありせば) ②	事業なかりせば 営農経費 ③	現況 (事業ありせば) ④			
温州みかん (区画整理 1)	円 18,611,318	円 6,326,805	円 -	円 -	円 12,284,513	ha 0.7	千円 9,091
温州みかん (区画整理 2)	9,047,516	6,330,046	-	-	2,717,470	0.5	1,250
温州みかん (区画整理 3)	9,789,039	7,081,741	-	-	2,707,298	0.2	541
甘夏 (区画整理 1)	18,611,318	6,326,805	-	-	12,284,513	0.7	8,599
甘夏 (区画整理 2)	9,047,516	6,330,046	-	-	2,717,470	0.6	1,630
ニューサマー オレンジ (区画整理 1)	18,611,318	6,326,805	-	-	12,284,513	1.5	18,427
ニューサマー オレンジ (区画整理 2)	9,047,516	6,330,046	-	-	2,717,470	0.6	1,630
レモン (区画整理 1)	9,789,039	7,081,741	-	-	2,707,298	0.6	1,733
レモン (区画整理 2)	9,430,468	6,893,170	-	-	2,537,298	0.4	1,015
新 設							43,916
更 新							-
合 計							43,916

※小数点以下を四捨五入していることから、記載値は計算結果と合わない場合がある。

### ・各作物のha当たり営農経費は以下のとおり

・現況営農経費 : 地域の営農経費であり、静岡県内の農業経営指標等に基づき算定した。

・計画営農経費 : 想定される事業により増減した地域の営農経費であり、静岡県内の農業経営指標等を基に、地域の農業関係機関、普及センターの指導方針を反映し算定した。

### (3) 維持管理費節減効果

○効果の考え方

事業を実施した場合（事業ありせば）と実施しなかった場合（事業なかりせば）を比較し、維持管理費の増減をもって年効果額を算定した。

○対象施設

用水路、排水路、農道

○効果算定式

年効果額＝事業なかりせば維持管理費－事業ありせば維持管理費

○年効果額の算定

区分	新設	現況維持管理費①	事業ありせば維持管理費②	年効果額 ③＝①－②
	更新	事業なかりせば維持管理費①	現況維持管理費②	
		千円	千円	千円
新設整備		421	1,972	△ 1,551
更新整備		409	421	△ 12
合 計				△ 1,563

・事業なかりせば維持管理費

：現況施設の維持管理費を基に、施設の機能を失った場合に想定される安全管理等に最低限必要な維持管理を算定した。

・事業ありせば維持管理費

：現況施設の維持管理費を基に、本事業の実施により見込まれる維持管理費の増減を考慮し算定した。

・現況維持管理費

：現況施設の維持管理費に基づき算定した。

#### (4) 営農に係る走行経費節減効果

○効果の考え方

事業を実施した場合（事業ありせば）と実施しなかった場合（事業なかりせば）の農業交通に係る走行経費の増減をもって年効果額を算定した。

○対象施設

農道

○効果算定式

年効果額 = 事業なかりせば走行経費 - 事業ありせば走行経費

○年効果額の算定

区分	新設	現況走行経費①	事業ありせば走行経費②	年効果額 ③=①-②
	更新	事業なかりせば走行経費①	現況走行経費②	
		千円	千円	千円
新設整備		20,082	7,371	12,711
更新整備		41,636	20,082	21,554
合計				34,265

- ・事業なかりせば走行経費 : 整備した道路の機能が喪失した状態において想定される農業交通に係る走行経費を算定した。
- ・事業ありせば走行経費 : 道路の整備後における農業交通に係る走行経費を算定した。
- ・現況走行経費 : 現況の農業交通に係る走行経費を基に算定した。

## (5) 地籍確定効果

### ○効果の考え方

事業を実施した場合（事業ありせば）と実施しなかった場合（事業なかりせば）を比較し、土地を国土調査する場合に要する経費の差をもって年効果額を算定した。

### ○対象

区画整理実施地区のうち国土調査未実施地域

### ○効果算定式

年効果額 = (事業なかりせば国土調査経費 - 事業ありせば国土調査経費) × 還元率

### ○年効果額の算定

区 分	事業なかりせば 国土調査費 ①	事業ありせば 国土調査費 ②	還元率 ③	年効果額 ④ = (① - ②) × ③
	千円	千円		千円
新設整備	2,738	537	0.0408	90

- ・ 事業なかりせば国土調査経費 : 現況国土調査費（近傍地区における国土調査費）
- ・ 事業ありせば国土調査経費 : 計画国土調査費（国土調査法第19条第5項の申請に要する費用相当額）
- ・ 還元率 : 施設等有している総効果額を耐用年数期間（基本的に100年とする）に換算するための係数

## (6) 国産農産物安定供給効果

### ○効果の考え方

国産農産物の安定供給に対して国民が感じる安心感の効果であるため、一般国民に対してWTP (Willingness To Pay: 支払意思額) を尋ねることで、その価値を直接的に評価する手法であるCVM (Contingent Valuation Method: 仮想市場法) により年効果額を算定した。

### ○対象作物

温州みかん、いちご、キャベツ、甘夏、ニューサマーオレンジ、レモン、ハウスみかん

### ○効果算定式

年効果額 = 年増加粗収益額 × 単位食料生産額当たり効果額 (原単位)  
+ 年増加供給熱量 × 単位供給熱量当たり効果額 (原単位)

### ○年効果額の算定

区分	増加粗収益額 ①	増加供給熱量 (千kcal) ②	単位食料生産額 当たり効果額 (円/千円) ③	単位供給熱量 当たり効果額 (円/千kcal) ④	当該土地改良 事業における 年効果額 ⑤=①×③ +②×④
	千円	千kcal	円/千円	円/千kcal	千円
新設整備	87,034	67,166	49	9.9	4,929
更新整備	-	-	49	9.9	-
合計	87,034	67,166			4,929

- ・増加粗収益額 : 作物生産効果の算定過程で整理した結果を用いて、事業ありせばと事業なかりせばにおける増加粗収益額及び増加供給熱量を整理した。
- ・単位食料生産額  
当たり効果額 : 一般国民に対し国産農産物の安定供給についてWTPを尋ねるCVMにより、年効果額の算定に用いる単位食料生産額当たり効果額 (原単位) は49円/千円、単位供給熱量当たり効果額 (原単位) は9.9円/千kcalとした

### 3 評価に使用した資料

#### 【共通】

- ・ 農林水産省農村振興局整備部（監修）[改訂版]「新たな土地改良の効果算定マニュアル」大成出版社（平成27年9月5日第2版第1刷発行）
- ・ 「土地改良事業の費用対効果分析マニュアルの制定について」（平成19年3月28日付け18農振第1597号農林水産省農村振興局企画部長通知（最終改正：令和7年4月2日））
- ・ 「国産農産物安定供給効果」について（平成27年3月27日付け26農振第2072号農林水産省農村振興局整備部長通知（令和5年4月3日一部改正））
- ・ 土地改良事業の費用対効果分析における参考資料等について（令和5年9月13日付け農林水産省農村振興局整備部関係課関係班連名事務連絡）
- ・ 土地改良事業の費用対効果分析に必要な諸係数について（平成19年3月28日付け18農振第1598号農林水産省農村振興局企画部長通知（令和7年4月1日一部改正））
- ・ 土地改良事業の費用対効果分析に必要な諸係数等について（令和7年4月1日付け農林水産省農村振興局整備部土地改良企画課課長補佐（事業効果班）事務連絡）

#### 【費用】

- ・ 当該事業費に係る一般に公表されていない諸元については、静岡県経済産業部農地計画課調べ

#### 【便益】

- ・ 関東農政局統計部 「令和元～5年 農林水産統計年報」
- ・ 関東農政局統計部 「令和元～5年 農業物価統計」
- ・ 上記以外の効果算定に必要な各種諸元については、静岡県経済産業部農地計画課調べ